

シリーズ 学校紹介



を利用しています。
最初は遊び道具にとまどいがち
だつた児童も、最近ではすっかり
慣れて、なかには新しい遊び方を
考案する子供もいて、効果は十分
に上っています。

あそびを学ぶ大切さ

宝小学校では、生活時程表のな
かに“あそびの時間”を組み入れ
て、あそびを学ぶ大きさについて
真剣に取り組んでいます。

現代の子はよく、遊び方がへた
であるといわれます。

この原因はいろいろありますが
特にテレビ文化に代表されるよう
に、受け身のあそびである程度の
満足感は味わえるよう社会のし
くみがなっていることにあります。

しかし、本当のあそびのよろこ
びは、自ら工夫して完成させ、他
との比較で改良を加えるプロセス

竹馬にしても、既製品では手づ
くりによるもののような愛着は湧
いてきません。

こんな意味あいから、魚のとり
方についても実際経験し、あわせ
て他校との交流も深めようと、七

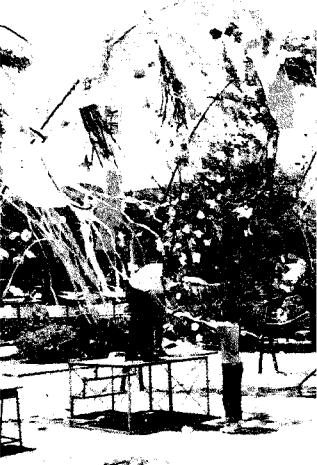
月六日、グリーンロッジ近くの大

幡川で、大月市のやまびこ養護学

校の児童四十九名と、宝小六年生
三十六名が参加して、マスのつか
みどりを行ないました。

また、体育の授業のときには、
準備体操がわりに、これらの道具
ふだん川で魚をつかみどりする

7月3日に全校を10のグループ
に分け、七夕のかざりつけを行な
い、川上校長より各賞の表彰をう
けました。



◆宝の時間の一コマ

学びのまほろば

“宝の郷”

——山に明るい日の光、川にや
さしい雲のかけ、いろいろ多い七
里に——（校歌の一節）

宝の郷は、市北西に位置し、
三ツ峠に源を発する大幡川と、南
の山間を流れる加畠川に沿って發
達している。

明治の初年に大幡・中津森・金
井・加畠・平栗・厚原・川棚の七
カ村が合併し、七福神の乗る宝船
に因んで宝村という村名を付した
といわれる。

——軒にうたうよおさの音、谷
中をおさえるより、腹の下をおさ
えた方が魚が逃げないことなどを
学びました。

学習としてのあそびは、これを
工夫することによって向上心の育
成にもつながるわけです。

山間の川によつて拓かれた縦長
の土地を利用して、平坦部には水
田が、山つきには畑が經營され、
古くから養蚕、織物が隆盛を極め
か七里に——

——あした希望に燃えあがり、
時代は変つて、専業の農家や機
械工場のめざましい進出、大資本によるゴルフ場
の建設、青少年の野外活動施設グ
リーンロッジの完成等大きく変容
し、住民の大部分は勤め人となり
近在の工場、会社へ働きに出でてい
る。

タバ未来の夢を追う、日本の真中
七里に——
時代は変つて、専業の農家や機
械工場のめざましい進出、大資本によるゴルフ場
の建設、青少年の野外活動施設グ
リーンロッジの完成等大きく変容
し、住民の大部分は勤め人となり
近在の工場、会社へ働きに出でてい
る。

この佳き郷の中央部に建ち、近
代的施設、設備を誇る学舎には、
昭和五十五年の学習指導要領の改
定に対応して策定された——よく
考える子・がんばりのきく子・思
いやりのある子——の子ども像を
めざして二六四名の児童が、十七
名の教職員に学んでいる。

この二十一世紀にむけて生きて
いく子どもたちのために、独自の
学習展開過程、計画的学習の訓練
計画が用意されて、ひとり学びの
できる子どもの育成につとめてお
り、生活時程表には、三つの時間
帯に分けた“あそびの時間”と、
始業前の“たからの時間”が設け
られ、体力づくりと縦割りの異年
齢集団による自主的活動が展開さ
れている。

P.T.A活動も活発で、家庭の教
育力を高めるための学習と実践が
行われており、育成会と共同して
学区内の団体、機関に呼びかけ、
「青少年健全育成懇話会」を開いて
“あいさつ運動”“叱る運動”
を通して、明るいふれあいの宝の
郷づくりに努力している。